

図書館だより



休館日…毎週月曜日

臨時休館日(蔵書点検のため)…2月25日(木)～
3月2日(火)

祝日開館日…2月11日(木) 9時～17時

日曜日の開館時間…9時～17時

※2月11日(木)～24日(水)は、本・雑誌に限り何冊でも貸し出しますので、たくさんご利用ください。

◆蔵書点検があります

蔵書点検は、図書館にある所蔵データと現物を一致させるための作業です。この期間、図書館業務用コンピュータは、データを固定しておかなければならないため、貸出・返却・新着資料の受け入れ作業などはできません。

◆なぜ長期間休館にするのか

蔵書が約23万冊あり、他に雑誌や視聴覚資料があります。その資料の一点一点のバーコードを読み取って所蔵データと照合し、年に一度調査・整理します。蔵書点検は、新鮮で魅力ある蔵書構成を維持し、利用者の皆さんがお求めの資料を、正しく迅速に提供するための必要な作業です。

◆2月の「おはなし会」開催日(八日市場図書館)

6・13・20(土) 15時から約30分間

アドレス<http://www.library.sosa.chiba.jp>

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

第4回 市民体育大会 競技結果

1月号に引き続き、各種目の上位入賞者を紹介します。
(敬称略)

空手道



◆形の部

【幼年】①酒井拳伸 ②伊藤憲一郎 ③鎌田紘彰 ③大木脩斗【小学生低学年8級～無級】①古川拳心 ②佐井田悠 ③向後寛人 ③伊藤颯汰【小学生低学年4級～7級】①槇峻亮 ②郡しずく ③五木田愛海 ③林健人【小学生低学年1級～3級】①槇凜太郎 ②伊東大河 ③塙明日華 ③石田龍司【小学生高学年8級～無級】①青野由佳 ②塙裕士 ③塙祐也 ③黒津将也【小学生高学年4級～7級】①篠塚悠希 ②石井流星 ③野口直人 ③増田祐志【小学生高学年1級～3級】①林明香里 ②小林さくら ③寺村一也 ③椎名航大【小学生男子有段】①白駒治暉 ②石山雄大 ③小岩巧 ③上田浩尉【小学生女子有段】①北川空 ②乾凪沙 ③向後美咲 ③伊藤紀智【中学生】①石田正紀 ②篠崎一貴 ③石田雄紀 ③佐野優衣【一般】①佐野有香 ②上田侑宏 ③鈴木由美 ③露久保美輝

◆組手の部

【幼年】①大木脩斗 ②酒井拳伸 ③乾颯馬 ③伊藤憲一郎【小学生男子1、2学年】①林健人 ②菅谷秀道 ③鈴木颯太 ③青柳拓海【小学生女子1、2学年】①小林鈴那 ②別府優衣果 ③掛栗桃花 ③土屋歩華【小学生男子3、4学年】①篠塚悠希 ②小岩巧 ③高科貴寛 ③石山雄大【小学生女子3、4学年】①野口恵実 ②乾凪沙 ③鎌田絢子 ③鶴岡由那【小学生男子5、6学年】①掛栗瑞貴 ②上田浩尉 ③矢部海斗 ③白駒治暉【小学生女子5、6学年】①林明香里 ②山崎真美 ③金杉来夢 ③小林さくら【中学生男子】①田中柊介 ②石田雄紀 ③池田裕哉 ③細田涼太【一般女子】①佐野有香 ②佐野優衣 ③鈴木由美

文芸コーナー

短歌

土屋 耕一 推薦

山間を流るる水に照り映えて紅葉ひとときわ鮮やかに燃ゆ

高 石井 房代

秋深く鶴数羽群れなして一つの柿を啄ばみてゆく

八日市場イ 木島 仁美

晩秋の雨音聴きある一人居は人恋しきよ我も老いたり

平木 大木ヨシ子

仰ぎ見る大銀杏の黄葉日に透けて天地に金の光きらめく

高野 鈴木 知子

窓越しに遠き夕焼け見ておれば高度下げつつ飛行機が行く

上谷中 加藤 八枝

幼くて体のみ老ゆプロジェリア症痛みに耐ゆ子明るく健気

若潮町 伊藤登美枝

今日もまた喪中のはがき届き来て年賀の文も寂しくなりぬ

生尾 中島 静代

修学旅行の土産にと手の平にのるシーサーを祖父母われら

荻野 川口 登喜

に孫のくれたり

川口 城司 推薦

下枝より臘梅の花咲きそめて元旦けふをほの灯りなす

今泉 熱田千代子

ゆったりと袖風呂に入りふり返るこの一年の無事なりしこと

野手 伊橋 良子

鉢植の白梅風雅の香りしてわれを癒すと静かに開く

新堀 押本富美子

元旦の朝戸開くれば西空に初日とまがふ満月のあり

野手 石田 秀子

俳句

西野 棠雨 推薦

穏やかや夫に従ひ初散歩

椿 佐藤 千枝

発見された新たな記録

今泉の稻生神社

匠瑛探訪

- 45 -



改修・新築された稻生神社の本殿と拝殿

2月の年中行事として3日の節分が広く知られています。が、稲荷信仰の神社では、「初午（はつうま）」の行われるところがあります。初午はその年の豊作を祈願する行事で、2月最初の午（うま）の日に行われます。宗教法人に登録された市内66社のうち稲荷（いなり）・稲

生（いなお）神社は16社まつられていました。今泉（野田地区）の稲生神社は昨年、本殿（神様をまつる場所）の改修と拝殿（神様に対しておまつりや祈願を行う建物）新築工事が行われた際、新たな記録が発見されました。

『野栄町百年史』によると、1615年（元和元年）大阪夏の陣に破れた豊臣家の残党・小川和泉守（いずみのかみ）が、京都の伏見稲荷大社から分霊勧請（ぶんれいかんじょう）・神仏の分身を他の地に移し祭ることとし、この地に同社をまつたとあります。初めは別の場所にまつられたと伝わりますが、同村の小川和泉守、小川五郎兵衛らが現在地に移したとされます。

今回見つかった記録はこれを裏付けるかのように、本殿は1652年（慶安5年）に今泉村の小河理兵衛（小川利兵衛ともいう）が中心となり村びとの協力で建てられたこと、当時は「稲荷大明神」と

呼ばれていたこと、このほか観福寺と吉祥院の2か寺や野手村の大王の名も見られます。この本殿は市内の神社建築物の中では比較的古い年代に建てられたことになりました。

拝殿については、1782年（天明2年）に書かれた記録の一部も見つかったことで、230年ほど前に現在見られる境内の建物がそろったことになり、例祭もこのころには行われていたことでしょう。

神社を訪ねた1月15日は「ひげなで三杯」といわれる神事が行われました。工事報告書の中で、江戸時代の「稲荷大明神」がいつから現在の「稲生神社」となったか、という疑問が書かれていました。これは、明治初年に当時の県庁に提出した書類に「稲生大神」とあり、その後の県への報告記録などに「稲生神社」と称されているので同時期に変わったといえます。

明治時代中期から、建物修繕完成時や明治天皇の病氣平癒、大正天皇即位などに「神楽（かぐら）」を奉納したことで、この神社が時代とともに村びとの生活にとけ込んでいたことが知られます。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746

黒潮に太鼓のひびき初日の出
寒すばる神の遊びか流れ星
さっぱ舟揚げる庭先年暮るる
初暦構へる虎の勇姿かな
しんしんと村明るくて懸大根
一病をなだめて生きて去年今年
心の荷下ろし安堵のごまめ食む

登戸 伊藤 さく
蕪里 山崎 仲
上谷中 八木佐久司
横須賀 岩井 やす
八日市場ハ 大川 宣子
高 伊藤 友子
横須賀 吉野 ヨシ

川口 城司 推薦

月さやか葱作業場に降りそそぐ
突堤に冬波しぶき高々と
家族らの大鍋かこむ初雑煮

栢田 伊藤 定子
堀川 高野 操
栢田 加瀬 潔子

川柳

高梨 果宝 推薦

元旦の朝刊持てぬ二才の児
新婚の子宝願い初詣で
鏡餅供え今年の無事祈る
お年玉今は年賀で貰う年齢
年明けて昨日と今日の気格差
孫等皆揃い早々初詣で
御無沙汰を詫びて賀状が届く朝
山小屋で待つ山頂の初日の出

蕪里 鶴澤 教子
木積 佐久間美智子
八日市場イ 関川 幸子
飯高 林 サダ子
飯塚 鈴木ツネ子
八日市場イ 常世田やす子
八日市場イ 伊藤さとこ
八日市場イ 鈴木十世志

川口 城司 推薦

皆さんのやさしさ涙紙風船

川 辺 加瀬 キヨ

匠瑛探訪

あて先： 匠瑛市秘書課広報広聴班

〒289-2198

匠瑛市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114